

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山こどもの国	所管課	福祉保健部児童家庭課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成45年5月5日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立愛宕山こどもの国設置及び管理条例		
設置目的	①子どもに自然の中で協力、規律、忍耐等を学び、豊かな情操を身につけるための場を提供すること ②主催事業の実施を通じて、子どもに自然の中で協力、規律、忍耐等を学び、豊かな情操を身につけさせる機会を提供すること ③以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良質な緑地景観、環境を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	自由広場、芝生広場、変形自転車広場、キャンプ場		
主な業務内容	○遊び、憩いの場を提供すること ○主催事業の実施		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	甲府市及び近郊の都市公園
---------------	--------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (計画値)
利用者数	施設利用者数	255,011	241,999	180,846	
	自主事業参加者数	22,741	31,434	99,299	
	利用者数合計	277,752	273,433	280,145	
	目標値	257,109	260,966	280,530	283,335
	目標値設定の考え方	平成18年度目標値の1.5%増を目標値と設定している。	平成19年度目標値の1.5%増を目標値と設定している。	平成19年度実績値の1%増を目標値と設定している。	平成21年度目標値の1%増を目標値と設定している。
	対19年度比	100.0%	98.4%	100.9%	102.0%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	427,000	138,000	136,000	140,000
	指定管理者委託料	48,718,000	47,343,000	47,538,000	47,524,000
	その他	914,000	609,000	483,000	2,776,000
	収入合計(A)	50,059,000	48,090,000	48,157,000	50,440,000
支出	人件費	34,274,000	35,578,000	34,041,000	32,414,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	14,744,000	12,512,000	13,900,000	18,026,000
	(うち外部委託費)(B)	6,826,000	7,357,000	6,903,000	7,140,000
	支出合計(C)	49,018,000	48,090,000	47,941,000	50,440,000
収支差額(A-C)		1,041,000	0	216,000	0
外部委託比率(B÷C)		13.9%	15.3%	14.4%	14.2%
利用者一人当りの経費		178	169	170	168

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:施設利用者へのアンケート、回答数:131人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	84.0%	0.0%	16.0%	0.0%
②利用料金				
③申し込み方法				
④設備・備品の状況	88.0%	10.0%	2.0%	0.0%
⑤催物・事業内容	92.0%	7.0%	1.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	81.0%	17.0%	2.0%	0.0%
各項目の平均	86.3%	8.5%	5.3%	0.0%

利用者の意見	○親子で参加できる行事は大変楽しく、1つのものに最後までチャレンジできてよかった。 ○薪割り、かまどの火、バウムクーヘン作りなど、普段家ではできない事ばかりで、大人も楽しめた。
利用者の意見への対応	○事業参加者へのアンケート結果から、大変好評を得ているようだ。引き続き、参加者のニーズに合ったプログラム展開ができるよう努力する。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	○毎日4回巡視を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。	○適正に業務執行されている。
運営業務	○安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。	○適正に業務執行されている。
自主事業	○自然のマナーや自然環境の保護を考える機会の創出を図った。 ○普段では出来ない体験を通して家族での協力、親睦を図ることができた。	○「家族のためのキャンプ教室」は20年度も参加率が悪かったため改善指導を行ったが、名称変更のみを行い、21年度も相変わらず低い参加率に終わった。今後は、業務内容や実施時期等を再検討し、事業の周知を図りながら、魅力ある事業を展開すること。
利用状況	○全体の利用者は、前年度に比べ2%の増となっている。自主事業参加者数は概ね予定人数となっているが、主催事業の中には参加者数が予定人数よりも少ないものがあるため、参加者のニーズを把握し、その内容を分析する必要がある。	○概ね昨年同様の利用者数が確保されている。今後は、項目ごとの人数の把握を行うよう指導を行った。
収支状況	○自主事業の大幅減が目立つため、広報の方法等を検討し、事業収入増を図ることとしたい。	○利用者一人あたりのコストが改善されている。引き続き、事業計画に沿った運営に努めること。 ○コスト削減が果たされた一方で、人件費が支出総額の7割を超えている。青少年協会全体で、効率的な人員計画・配置を検討する必要がある。
利用者満足度	○催しへの参加者の評判は概ね良好である。参加者の意見等を取り入れながら魅力ある事業作りを実施していく。 ○職員がキャンプ場のサイトの整備や炊飯場のペンキ塗りなどをして、利用者に気持ちよく使っていただきたい。	○適正に管理され、全体的に満足度が高いといえる。引き続き業務計画書に沿って、適正な管理に努めること。
運営目標の達成状況	数値目標は、概ね達成している。今後は更なる満足度の向上に向け、利用者ニーズを反映しながら新たなイベント、行事の実施に努めること。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○入園者数は、前年に比べ2.4%の増であったが、目標値と比較し、0.1%の減少となり、目標を達成することができなかった。平成21年度中に改良したHPについても見直しを進めると同時に、広報活動を積極的に実施し、利用推進に努めること。 ○主催事業については、定員を超える実績があったが、個々の事業で見ると定員を大幅に下回っている事業もあった。今後は参加者のニーズを適格に把握し、事業内容、実施時期、募集方法等を工夫する中で、利用者の増に努めること。 ○遊具の老朽化が進んでいるため、遊具の安全管理に一層努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○参加者アンケートや参加率から既存の主催事業の見直しを行うなどして、より魅力ある公園づくりを目指し、利用者の満足度向上のため、業務計画書に沿って、適正な管理に努めていく。 ○日常点検による遊具の安全管理を徹底し、事故の未然防止に一層努める。	

7. 管理体制(組織図)

